

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	住民と考える地域交通利用促進事業
事業主体 (連絡先)	大鹿村
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,447,285 円

事業内容

- ・村内全世帯（高校生以上）を対象に、公共交通（路線バス・患者輸送車等）の利用状況等のアンケート調査を実施。
全世帯（507世帯） 回答262世帯（440人） 回収率52.5%
- ・住民を対象としたワークショップの開催 3回
延べ87名参加
- ・住民の利便性を考えた運行計画の作成



【ワークショップの開催】

【目標・ねらい】

- ①利用者（率）の増加
路線バス：利用率3%増加
患者輸送車：平均乗車1.3→2名
- ②利便性の向上
- ③地域の公共交通に対する認知度の向上

事業効果

- ①見直し後の運行がまだなので、利用者の効果測定ができていない。
- ②平成30年夏頃開業の「道の駅」へ路線バス、患者輸送車を乗り入れ、乗換ができる運行見直しを行い、さらに路線バスと接続できる午後便の患者輸送車の運行設定をした。
- ③現在、交通不便と感じていない住民が9割を占め、公共交通の関心度も低かったが、ワークショップを通じて説明や話をするなかで、患者輸送車の運行や利用について

※自己評価【B】

【理由】

- ・利便性の向上を目指した運行見直しができ、公共交通に対する認知度向上を図ることができた。
今後、利用者の増加に向けて取り組む。

今後の取り組み

- ・運行見直し案の実施にむけ、関係機関、関係者等と協議をする。
- ・道の駅開業前から、各地域ごとの説明会や試乗会等を開催して、さらに認知度の向上、利用者増加に向けた取り組みを行う。